

原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年7月22日 No.11 国際会議まであと11日

みんな熱くて、手応え十分!

愛知の学生が内海海岸で署名よびかけ、1時間で142筆!



日本福祉大学原水爆禁止実行委員会と愛知県学生自治会連合の学生は7月18日、知多半島の内海海岸で、核兵器廃絶を呼びかける署名行動を行いました。この取り組みは、世界大会に向けて、核兵器廃絶や平和について知らせ、考えてもらうために、毎年行っています。

梅雨明けで日差しが照りつける中、10人の学生が海水浴客に、「核兵器をなくしてほしいという署名です」「日本で690万筆以上集まって国連に届けました。この署名も届けます」と声をかけ、一時間で142筆集まりました。参加した学生は「核はなくなれないと思うと言いつつも署名してくれたおじさんが印象的」「急には変わらない

と思うけど、一步、一筆ずつ前に進めていきたい」「若い人やちょいワルのお兄さんが積極的に書いてくれた。みんな熱くて、手応え十分」など感想を出し合いました。呼びかければ応えてくれるし、核兵器廃絶を願う人が多くいることに確信をもつことができました。

今後は、愛知の学生40人で世界大会に行こうと参加者を募集しながら、平和活動に取り組む学生独自の役割や世界大会の意義について学習会を行う予定にしています。

【連載】原水爆禁止2010年世界大会プログラム紹介

国際会議1日目(8月2日・月)

開会総会(14:00-15:15)

- 14:00 開会宣言、海外代表の紹介、議長団任命
- 14:10 主催者あいさつ
- 14:25 被爆者あいさつ 木戸季市(日本被団協事務局次長)
- 14:35 メッセージ紹介
- 14:48 政府代表あいさつ エゼルディン・アブデルモネイム(アラブ連盟 軍縮・戦略問題特別顧問)
- 第1セッション(15:15-17:15)
- 核兵器のない世界のために - 次のステップ
- 15:15-16:00 導入発言
- ジョゼフ・ガソン(アメリカフレンズ奉仕委員会ニューヨークランド事務所責任者)
- ロラン・ニベ(フランス平和運動 全国委員)
- リンダ・ハゲル(イギリスCND 財政担当)
- 高草木 博(原水爆禁止日本協議会 事務局長)

16:00-17:15 質疑・討論

<休憩15分>

第2セッション(17:30-19:00)

核抑止力論の克服、外国軍事基地撤去の運動との連帯、平和と安全のために

17:30-18:30 導入発言

- 矢ヶ崎克馬(琉球大学名誉教授)
- マイケル・ベバックア(グアム平和正義連合)
- コラソン・ヴァルデス・ファブロス(非核フィリピン連合 事務局長)
- イ・ジュンキュ(韓国、労働者代案社会学習院講師)
- ニユウ・チアン(中国人民平和軍縮協会 事務局長)
- ウィーダ・アハマド(アフガンの正義を求める社会協会 理事)
- ジュディス・ルブラン(アメリカピースアクション全国組織担当)
- ライナー・ブラウン(ドイツ反核法律家協会 執行理事)
- 18:30-19:00 質疑・討論



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。